

が分かる。雪国の風情が残る商店街だったように感じたと振り返る。

16年度は雁木通りを3Dプリンターで再現し、全体を完成させる予定だ。経営たら展示する機会を設けた

い。多くの市民に見てもらいたい当時を振り返ってもらいたい」と話している。

「まだまだ水球はマイナーな競技。全国に向けて水球のまちづくりを発信できるように今後も頑張っていきたい」とあいさつした。賞金50万円が贈られた。

### ウォーターポロクラブ柏崎

## 地域活性化大賞に

### 県央の寺子屋つばさ 優秀賞

表彰式



表彰される「ウォーターポロクラブ柏崎」の青柳勸さん(27日、燕市井土巻)

豊かな地域づくりに貢献している団体を表彰する第13回地域活性化大賞の表彰式が27日、燕市のホテルで開かれ、柏崎市の産官学民が連携して水球競技を支える体制を構築した「ウォーターポロクラブ柏崎」の活

動が大賞に選ばれた。県央地域の小学生が5日間かけて挑戦する「寺子屋つばさ100歩徒歩の旅」の活動も優秀賞を受けた。

県内約2500社が加盟する「県異業種交流センター」(長岡市)が主催した。

## 設計業者へ 損賠請求

三条市・一体校プール不具合

### 裁判所に調停申し立てへ

嵐南小学校・第一中学校 一体校(三条市南四日町1)の可動床式プールに不具合が発生し、使用を中止している問題で、三条市教育委員会が1日までに、設計した「石本建築事務所(東京)

同日の市議会総務文教常任委員協議会で明らかにした。一体校は2014年4月に開校し、15年6月に不具合が見つかった。床が上下することで水深が変わる構造だが、水平を維持できない部分が生じたため、小学生は市民プールで授業を代替し、中学生は水泳の授業を取りやめた。

市教委によると、設計に問題があったとして改修費の全額負担を求めて建築事務所と協議したが、1月末に事務所側から「請求には応じられない」との回答があり、調停を決めた。

市教委は、調停と並行して改修工事をする考えで、6月下旬の利用再開を目指す。水泳の授業が始まるまでには完全復旧できないため、金属製の支柱で床を支えて水深を一定にし、授業を再開する。改修や調停に必要な弁護士費用など計3

131万円は、15年度一般会計補正予算案として、開会中の市議会3月定例会に追加提案する。

### 議会だより

【田上町】1日、3月定例会初日の本会議を開き、会期を22日までの22日間と決めた。佐藤邦義町長が施政方針を表明し、総額4億3800万円の2016年度一般会計当初予算案など32議案と、専決処分1件を上程した。予算審査特別委員会を設置した。人事案件2件に同意した。

ws Network